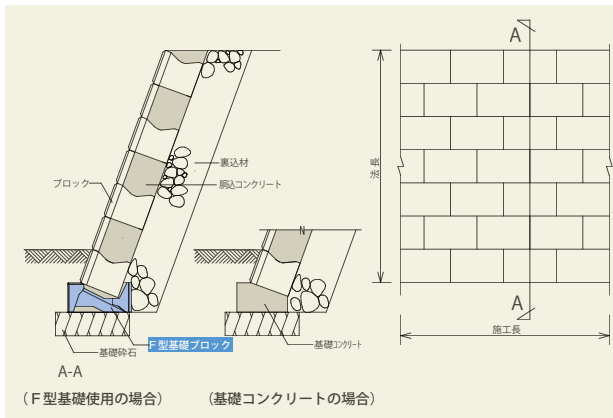


ブロック積擁壁施工図

布積施工図(例)



※A型・B型の底部が平らですので、基礎コンクリートの勾配に注意して下さい。

材料表

名称	摘要	単位	数量
間知ブロック	300×450×350	ケ	7.4
目地モルタル		m ³	0.001
胴込コンクリート	0.35-0.0185×7.4=0.21	//	0.21
裏込材			
基礎コンクリート			
基礎砕石			

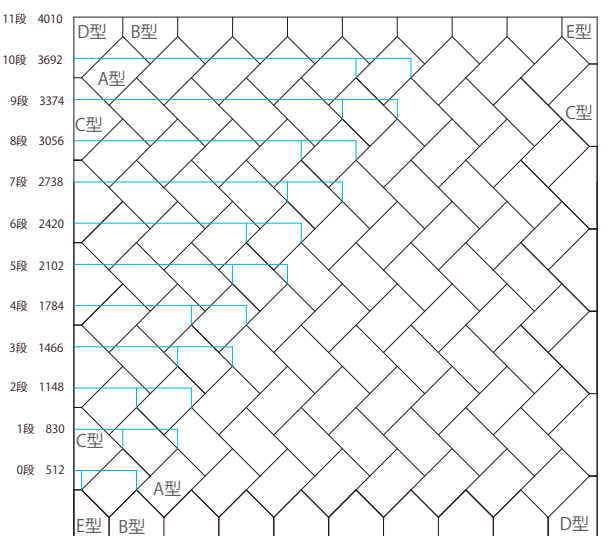
コンクリート間知ブロック(1㎡当たり)
※A区分の胴込コンクリート量は0.19㎡となります。

谷積ブロックの所用計算式

(L=ブロック長(m)、H=ブロック法長(m)、n=B型最下段使用数、P=A型積み上段数)

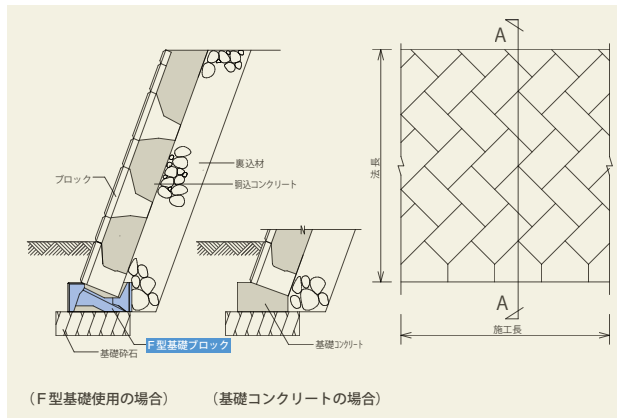
- 1) ブロック壁長 $L=0.424n+D+E$
 スプリット間知ブロック $L=0.424n+0.378+0.272=0.424n+0.65$
- 2) 最下段B型の使用数 $n=\frac{L-(D+E)}{0.424}$
 スプリット間知ブロック $n=\frac{L-(0.378+0.272)}{0.424}=\frac{L-0.65}{0.424}$
- 3) 1段毎に伸長する法長 $\frac{A}{\sqrt{2}}=\frac{0.450}{\sqrt{2}}=0.318$
- 4) ブロック法長 $H=B+B'+0.318P=0.362+0.15+0.318P$

A型の段数



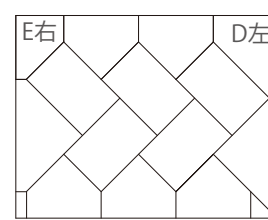
積み上段数の法長
(根石・天端のB型を含む)

谷積施工図(例)

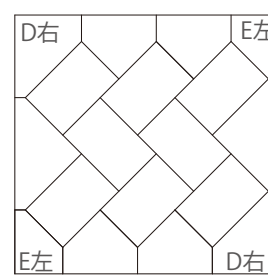


※A型・B型の底部が平らですので、基礎コンクリートの勾配に注意して下さい。

A型の積上段数が偶数段の例



A型の積上段数が奇数段の例



環境配慮型ブロック 多孔質SPブロック

- 平均明度4.0
- 全協明証第0661号
- 圧縮強度(N/mm²)18以上



※JIS製品ではありません。

Akagi
Concrete Products

ご購入の前に

※商品の色調は撮影条件や印刷特性により、実物と多少異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。
※寸法及び重量は、基本数値です。
※商品の改良の為予告なく仕様を変更する場合があります。

※寸法は製品の特性上、バラツキのある事をあらかじめご了承ください。
※納期をご確認ください。
※コンクリート製品は白華を折出す場合がありますが、製品強度や環境に悪影響を及ぼす物ではありません。

販売店

株式会社赤城商会
http://www.akagi-sk.co.jp

本社 〒377-0203 群馬県渋川市吹屋1093番地4 TEL:0279(24)3131 FAX:0279(23)1447
 首都圏支店 〒333-0861 埼玉県川口市柳崎1-2-28 TEL:048(424)2250 FAX:048(424)2274
 子持工場 〒377-0203 群馬県渋川市吹屋1093番地4 TEL:0279(24)7201 FAX:0279(23)1447
 富田工場 〒379-1121 群馬県渋川市赤城町富田480番地 TEL:0279(56)2201 FAX:0279(56)7800
 富士見工場 〒371-0105 群馬県前橋市富士見町石井2271番地34 TEL:027(288)5555 FAX:027(288)6969

スプリット間知ブロック
平均明度6.0
全協明証 第0350号

Akagi
Concrete Products

自然石調に経年変化

スプリット 間知ブロック

自然石調のスプリットが
環境性・景観性を
生み出します。



環境条件により自然に調和

株式会社赤城商会
http://www.akagi-sk.co.jp

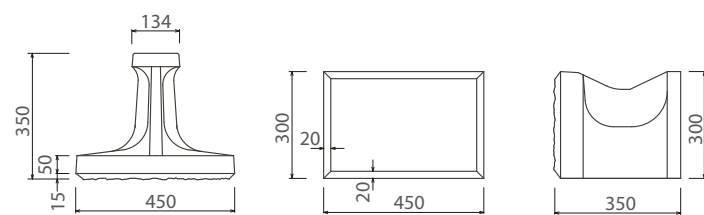
スプリット間知ブロック

時がたつほどに
自然景観に溶け込んでゆく
スプリット間知ブロック。

SP Type



SP-A型 《B区分》

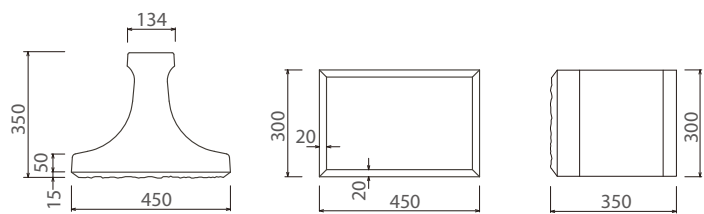


(JIS A 5371 附属書4、推奨仕様、4-1、6-B)

項目	質量 (kg)		体積 (m ³)		使用量 (個)	寸法許容差 (mm)		質量区分 (kg)
	1個	1m ²	1個	1m ²		面	控	
型別	43.5	322.0	0.0185	0.1384	7.4	±3	±5	B (350未満)

(1m²あたりの胴込コンクリート量 0.21m³)

SP-A型 《A区分》

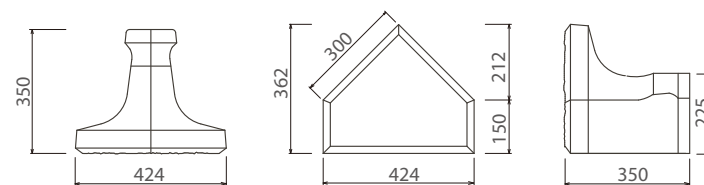


(JIS A 5371 附属書4、推奨仕様、4-1、6-A)

項目	質量 (kg)		体積 (m ³)		使用量 (個)	寸法許容差 (mm)		質量区分 (kg)
	1個	1m ²	1個	1m ²		面	控	
型別	51.0	377.4	0.0217	0.1606	7.4	±3	±5	A (350以上)

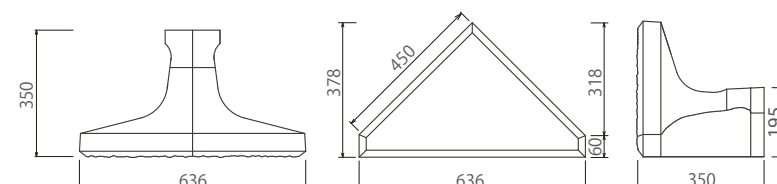
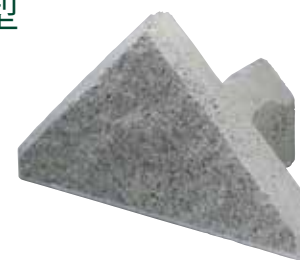
(1m²あたりの胴込コンクリート量 0.19m³)

SP-B型



項目	質量 (kg)	体積 (m ³)	使用量 (個)
	1個	1個	1m ²
型別	35.5	0.0154	9.2

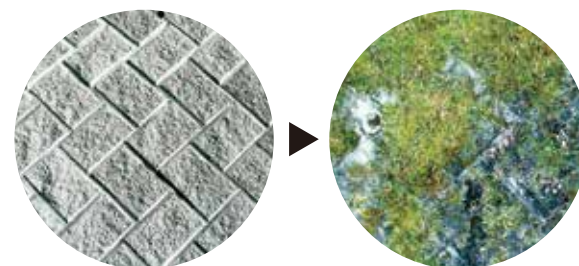
SP-C型



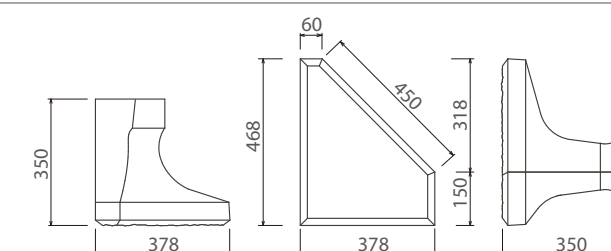
項目	質量 (kg)	体積 (m ³)
	1個	1個
型別	42.0	0.0178

自然石風粗面の間知ブロックは人工物でありながら
自然の風合いと重厚感を持ち、
時がたつほど自然環境に溶け込んでゆきます。

- 時がたつほどに自然石風の美しさを醸し出します。
表面を割り石仕上げにしていますので、自然景観にマッチした仕上がりになります。また、周りの環境条件により表面の微細な凹凸にはコケなどの微生物や野草が繁殖しやすく自然に溶け込みます。
- ドライバーにもやさしい製品です。
表面の微細な凹凸が光線を乱反射しますので、壁面の反射光からドライバーの視界を守ります



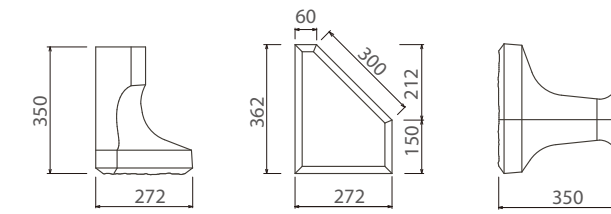
SP-D型



項目	質量 (kg)	体積 (m ³)
	1個	1個
型別	42.0	0.0174

左右とも数値は同じ

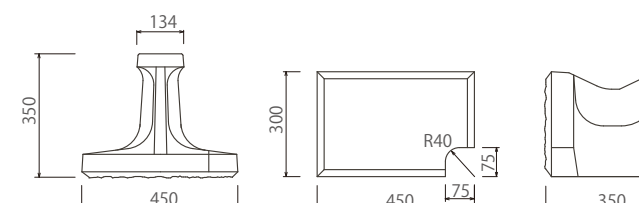
SP-E型



項目	質量 (kg)	体積 (m ³)
	1個	1個
型別	27.0	0.0106

左右とも数値は同じ

SP-A 水抜き型



項目	質量 (kg)	体積 (m ³)
	1個	1個
型別	43.0	0.0185

- 左右とも数値は同じ
- 上記図面は、水抜きが右になります。

※水抜きは、貫通していませんので現場加工にてご使用下さい。
※穴部厚さにはバラツキがありますので、ご注意ください。

施工省力化製品

F型基礎ブロック

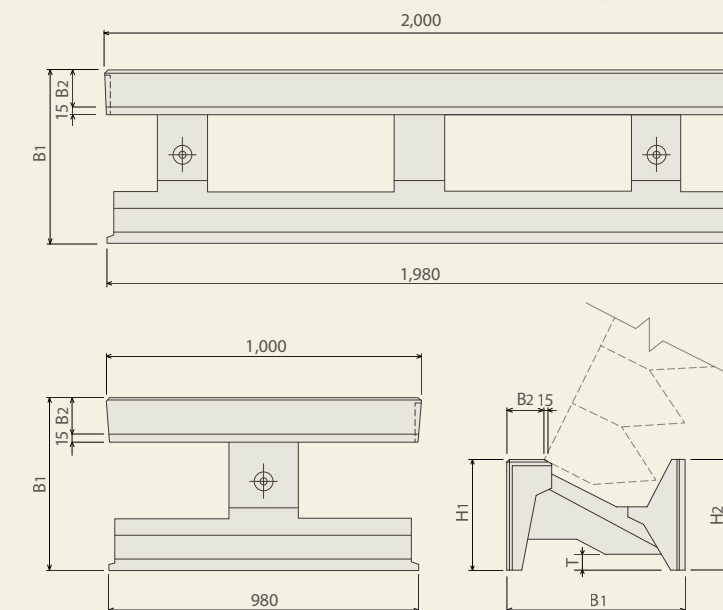
L1000タイプ L2000タイプ



市販されているほとんどの積みブロックに対応すると共に、省力化による工期短縮を実現!

F型基礎ブロックの特長

- F型基礎ブロックは、積みブロック擁壁の基礎工で型枠工と天端部の均し工程を省力化した製品です。
- 河川工事では水替時間を短縮できます。
- 省力化により工期短縮が図れ、災害復旧にも優れております。
- 根石の胴込めコンクリートは型枠を使わずに、基礎ブロックの充填と同時に打設可能です。
- 市販されているほとんどの積みブロックはカイクンで高さを調節することにより、自由な積み勾配に対応できます。
- 外カーブ、内カーブも十分にに対応できます。
- 玉石積みにも使えます。



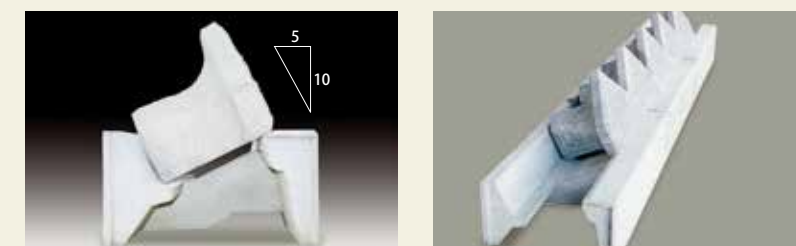
サイズ表

呼び名	寸法表(mm)					重量(kg)	
	B1	B2	H1	H2	T	L1000	L2000
F 1025	545	100	250	250	0	122	256
		150				125	261
F 1030	565	100	300	300	0	158	330
F 1035	565	100	350	350	50	170	369

※詳細については弊社営業に問い合わせください。

市販されているほとんどの積みブロックに対応すると共に、省力化による工期短縮を実現!

F型基礎ブロック 《施工例》



間知ブロック(5勾配)

吊り下げ状態



上部プレカード使用